

須坂市動物園のカルタ製作活用事業

取組に至る背景・事業の目的

お正月等の伝統行事である「カルタ取り」は、子どもの文化活動であるとも言えるが、近年は少子化、核家族化などにより行うことが少ない。

一方、須坂市動物園は、「脱走ペンギン」などでメディアを賑わすなど注目を浴びており、須坂市の地域資源としての魅力と可能性を持っている。

そこで、動物園のカルタを公募等で製作イベントで発表するとともに、須坂市動物園での販売、市内の公共施設等への配布など、地域資源として情報発信することにより、須坂市の知名度を上げ、地域の文化力を高める。

事業内容

- 市内外の方に呼びかけ、須坂市動物園を題材にしたカルタの読み札を募集し、市内の小中学生が参加するワークショップを開催するなどして選定するとともに、市内の高校の美術部・美術同好会に取り札（絵札）のイラストを依頼してカルタを製作し、須坂市動物園や公共施設での販売、市内の公共施設等に配布した。
- 別に製作した大型のカルタと通常のカルタを使い、公民館で市民参加によるカルタ会を開催した。



【カルタ会の様子】

事業効果

- 幼児、小中学生、高校生やその家族などが、伝統行事としてのカルタ取りを行い、文化に触れるとともに、小中学校や公共施設及び家庭での世代間交流が促進された。
- 須坂の地域資源として「須坂市動物園」を情報発信することにより、動物園に愛着を持つことに繋がるとともに、須坂市へ訪れる人の増加が期待できる。
- 読み聞かせボランティア等の人材育成が図られた。
- 販売分の 385 セットは早々完売し、須坂市の予算により増刷するほどの人気商品となった。



【すざかしどうぶつえんかるた】

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- 今後は、「すざかしどうぶつえんかるた」を更に活用するとともに、住民や地域の若者グループなどとの協働により、須坂市動物園を活用した絵本を製作し、須坂市内外に情報発信することにより、さらに地域の文化力を高めたい。

【選定のポイント】

地域住民、小・中学生、高校生が参画し、須坂市動物園にちなんだカルタを製作することにより、動物園に愛着を持つことに繋がった。また、独自に大型カルタを作成するなど工夫しながら、カルタ取り大会を開催することにより、地域の世代間交流が促進された。

26 年度も、住民や地域の若者グループなどとの協働による動物園を活用した絵本製作など新たな取組が進められており、事業効果の広がりが見られる。

団体名 須坂市子ども読書活動支援研究会 連絡先 026-248-9027 (須坂市) メールアドレス shogaigakushusports@city.suzaka.nagano.jp	事業タイプ ソフト事業 事業費 575,942円 支援金額 383,000円
---	--